

# 成沢学区

発行 成沢学区  
コミュニティ  
推進會  
「ふれあい」

責任者 西 英信  
発行者 広 報 部



## 成沢地区賀詞交歓會 和やかに開催

1月6日(土) 10時から成沢交流センター1号室で成沢地区賀詞交歓會が開かれ、来賓の方々やふれあい役員、専門部、推進員、自主グループの有志など約60名が参加しました。

長谷川事務局長の司会で、初春にふさわしく栄宝會の詩吟「高砂」から始まり、土生都兄弟の箏曲、巴會の日舞、成沢剣舞會の劍舞が披露されました。西會長の挨拶に続いて巴會の黒澤利枝さんの発声で乾杯の後、飲食付で和やかに懇親會が行われました。最後の抽選會は佐々木早苗さんが特賞を獲得し閉會しました。

## 謹賀新年



青葉台団地から



乾杯



懇親會



栄宝會



土生都兄弟



抽選會



巴會



成沢剣舞會

### 地域活動の一層の活性化を

成沢学区コミュニティ推進會



會長 西 英信

明けましておめでとうございませう。令和6年の新春を迎え心からお喜び申し上げます。

日頃より成沢学区コミュニティ推進會の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが第5類となり、通常の活動が戻りましたが、感染対策を継続しての活動となりました。

成沢小学校が創立150周年を迎え運動會や記念集會などの記念行事が行われ地域からもお祝いしました。

夏祭りでは猛暑の中、多くの参加者で賑わい、10月には成沢文化協會が設立30周年を迎え、記念誌を発行し、オスペンギンのトークショーの文化公演會や自主グループの作品発表と展示が盛況に行われました。

成沢交流センターはリニユーアルを終え、より地域活動の拠点として利用していきましょう。

今後も成沢のまち作りのため諸課題に取り組んで参りますのでご協力ご支援をお願いいたします。

皆様には健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

皆様には健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

### 手打ち蕎麦講習会(12月9日)

12月9日(土)、瀬谷正義さんのそば打ち講習に初心者からベテランまで15人が参加。作業の流れ等の説明を受けた後、3班に別れ講師の実演に倣いながら水回し、練り、延ばし、重ね切り、茹で、水しめまでの全工程を各自が体験しました。

お昼は野菜のかき揚げと講師手打ちの「六四常陸秋そば」を堪能しました。



### 味噌づくり講座(12月25日)

蛭田三雄先生の指導で味噌づくりが開催されました。前日から一晩水につけた大豆を茹で上げ、粉碎し、広げた素地に麴と塩を混ぜ、十分に捏ねて味噌玉を作れば仕込みは完成です。

恒例の味噌づくりは人気が高く、男性4人、女性20人で300kgの味噌玉を作り、来年夏頃には食べれるとのこと。活気溢れる講座でした。



### 親子クリスマス会(12月21日)

12月21日、青少年育成推進会とおもちゃライブラリーの主催で、親子で遊ぶ会とクリスマス会が開かれ、11組の幼児とお母さんが参加しました。

紙芝居の後、新聞紙破りで大はしやぎ、風船遊び、クリスマス飾り工作など、楽しいひと時を過ごし、最後にサンタクロースからプレゼントをもらい大満足の一日でした。



### クリスマスリース(12月16日)

松川達弥さんを講師にクリスマスリースと壁飾り作りが行われ、成沢小の6名と保護者一般の7名が参加しました。

身近にある草花や木の葉などを自分でデザインして世界に一つだけのリースを作りました。後半は壁飾りを作りしました。

親子や友だちと仲良く作業し、最後に全作品を前に記念写真を撮りました。



### 減塩料理教室(1月10日) 食改グループ

成沢交流センターにおいて「高血圧予防」のための減塩料理教室が開かれました。

参加者5名は2班に分かれ、食改グループの指導で調理を開始。献立は①かつおのオーロラソース和え②長芋とトマトの酢の物③レモン塩きのこ、の3品。目新しいメニューに挑んだ参加者、試食会では「おいしい!これを作る」と調味料の使い方などにも話が弾みました。

持参した味噌汁の塩分濃度の測定結果に、日ごろの努力を確認できたようです。



### 正月を生きる〜生花教室(12月26日)

26日に石井紘子さんを講師に17名が参加して行われました。縁起の良い若松、千両、菊、金銀柳、梅等を解説と指導を受けながら花器に盛り付けました。最後に生花の心構えも聞き、充実の時間でした。

23日には青少年育成推進会主催の「親子生花教室」も開かれ、5組の親子が参加しました。

クリスマスや正月をテーマに個性あふれる作品ができました。



### 地域の話題

#### 成沢小と合同防災訓練

11月17日、毎年恒例となっている成沢小5年生の防災訓練に自主防災部や事務局などが参加し、簡易テントや段ボールベッドの組立などを指導しました。

生徒は防災意識の必要性を改めて実感しました。



#### ◆編集後記

●コロナ禍を乗り越え、夏祭りや文化祭などが開催できたこの1年、みんながコミュニティの復活を実感したのではないだろうか。

●文化協会が30周年を迎えて、記念誌も発行しました。これまでの道のりを踏まえ、新たな船出を期待したい。